

下伊那農業高等学校（全日制）

設置学科

農業科



I スクールミッション（期待される社会的役割）

“命に学び 心を育む”教育をとおして、豊かな人間性を涵養するとともに、地域や社会に向き合いながら、農業や関連産業に関する専門的な知識・技術の習得・深化を図り、主体性・協働性・探究心を養うことによって、南信州の持続可能な未来の創り手を育成します。

II 「3つの方針」（スクール・ポリシー）

1 生徒育成方針

- (1) 「いのちを育み、いのちに学ぶ」教育をとおして、豊かな人間性を涵養するとともに、自分の個性や可能性を認識し、自ら自分を高める「自己教育力」を育てます。
- (2) 「農業を学ぶ」「農業で学ぶ」教育をとおして、科学性・社会性・指導性を身に付けるとともに、社会に求められる技術・能力を活かす「技術活用力」を育てます。
- (3) 「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」教育をとおして、郷土愛を育むとともに、地域のリソースを活かし地域と協働しながら地域の課題解決をめざす「課題探究力」を育てます。
- (4) 「専門的な学び」と「地域での学び」を両立した実践的な学びをとおして、主体的に学びに向かう態度を養うとともに、地域に貢献し未来を創る「地域共創力」を育てます。

2 教育課程編成・実施方針

- (1) 学力の基礎・基本を重視し、農業生物の栽培・飼養などの学習を基盤に、各学科・コースの特色や魅力を活かした、社会や時代に求められる専門教育を行います。
- (2) 専門的な知識・技術の習得と深化・統合化を図れるようカリキュラムマネジメントに取り組み、実験・実習・演習をとおして、体験的・実践的な教育を行います。
- (3) 持続可能な社会の構築、グローバル化の進展、多様性などの視点から授業の改善や教育の質の向上をとおして、地球規模の視野で考え地域から行動するグローバル教育を行います。
- (4) 学びの深まりや広がりに応じ、自ら課題や問いを設定し、プロジェクト学習や農業クラブ活動などをとおして、問題解決に向けて取り組む主体的・探究的な教育を行います。
- (5) ICTを活用した学習、学習状況に応じた習熟度別学習、進路に応じた科目選択制、コース学習やグループ学習をとおして、個別最適な学びと協働的な学びを推進する教育を行います。
- (6) 南信州を学びのフィールドとし、産学官（企業・団体、保育園・小学校・短大・専門学校、行政機関）との連携や世代を越えた交流などをとおして、社会に開かれた教育を行います。
- (7) 実用的な資格取得や産業現場での実習、就業体験や地域連携活動、ボランティア活動等の多様な機会をとおして、望ましい職業観・勤労観を育み、キャリア形成を促す教育を行います。
- (8) ホームルーム活動や学校行事、校友会活動、農業クラブ活動、班活動をとおして、自立心や自律性を高め、自治の精神を培い、社会性や指導性を育む教育を行います。

3 生徒募集方針

- (1) 植物や動物が好きで、本校で学ぶ農・食・地域・交流・環境などに対して関心をもち、中学校で履修する各教科・科目の基礎学力を有する生徒。
- (2) 各学科・コースの専門分野に高い関心をもち、専門的な知識・技術の習得や資格取得等に対して、意欲的かつ主体的に取り組む生徒。
- (3) 実験・実習などの実践的・体験的な学びに関心があり、自ら課題意識をもち、他者と話し合い協力しながら、探究的に学ぶ姿勢をもつ生徒。
- (4) 高校卒業後の進路実現に向けて積極的に取り組み、将来、地域の未来を創るために、農業や関連産業を含む地域産業で活躍することを目指す生徒。